

「公共工事コスト縮減対策に関する新行動指針」

【 施策名： (1) 工事コストの低減 2) 新技術の活用 ④ 技術開発の推進 】

鋼製護岸枠の採用によりコスト縮減

工事名：本谷工事用道路工事

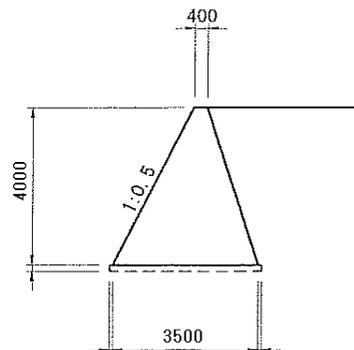
概要：(従来) 重力式擁壁(護岸) ⇒ (新) 鋼製護岸枠

効果：

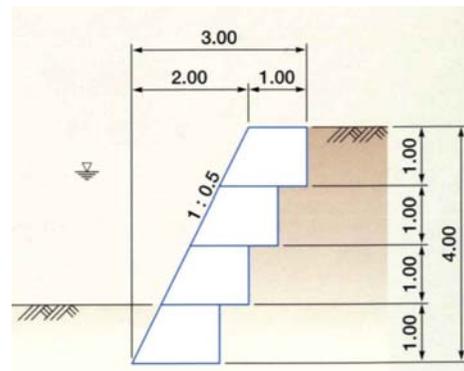
- ① 中詰材に現地発生材が利用でき、発生土処理費の軽減ができる。
- ② 耐久性にすぐれ、連続一体型構造のため、多少の変形を起こした場合でも機能が維持できる。

■ 工事費、68百万円から56百万円に縮減。
(縮減額 12百万円、縮減率 約17%)

(従来工法)



(新工法)



(イメージ写真)